



# 大平 編

大平地区の文化財をめぐる



大平地区（遠景）

「まちあるき」の際は、車に十分注意しましょう！



タカオさんとジッキー2号

沼津市教育委員会

## モデルコースA

～大平を制覇したい人むけ～

歩行距離約 9.2 km 所要時間 約 5.0 時間  
消費カロリー 422kcal



## モデルコースB

～早足で回りたい人むけ～

歩行距離約 4.5 km 所要時間 約 2.0 時間  
消費カロリー 204kcal



カロリー計算 体重 60 kg .80m/ 分

## 大平地区の歴史年表

旧石器	約 37,000 年前		
縄文	約 16,000 年前		
弥生	約 3,000 年前	●丸山遺跡	
古墳	西暦250年頃	●大正免遺跡 ●灰塚遺跡 ●出城山遺跡	
飛鳥	710年	●白鬘遺跡 ●月ヶ洞古墳 ●月ヶ洞横穴	
奈良		●小山横穴 ●松下横穴群 ●南蔵横穴群	
平安		●大井溜池 ●平重衡(中将)	
鎌倉	1185年	●遠山民部	
室町		●熊野神社(児の御前の墓) ●臥雲寺	
(戦国)		●星谷修理之亮 ●三嶽神社 ●江尻水門	
安土		●鷲頭神社 ●どうめんさん ●松下天王社	
桃山		●大平郷 ●龍音寺 ●阿弥陀堂(三分市)	
江戸		●鷲桂院 ●北川殿 ●桃源院 ●徳楽寺	
		●大平新城跡 ●今川氏真 ●原一統	
		●お万の方 ●向岳庵	
	1600年	●慈雲院 ●圓教寺 ●八幡神社	
		●中将岩(阿弥陀如来像) ●山口溜池	
		●白隠禅師 ●大平村絵図(桃源院)	
		●小山庚申堂	
		●唯念の名号塔	
	1868年		
明治		●大平舎 ●岳陽小学校 ●石丁場	
		●灌漑用水設備(蒸気機関) ●洪水記念表	
大正		●西部用水・東部用水	
昭和		●北伊豆地震 ●堰門	
		●沼津市と合併 ●狩野川台風	
平成		●江川樋門	
令和		●沼津アルプストンネル開通	
	2024年		

## ⑦③ 龍音寺 (南蔵)



応永4年(1397)、覚翁という僧が阿弥陀如来像を祀り覚翁庵と称したのが始まりといわれます。庫裡の前にある巨石が雲のようであることから、のちに石雲庵と改名しました。永正7年(1510)に龍音寺と改称した際も、石雲山という山号に名称が引き継がれています。御本尊の聖観音像は、平安時代の作とされ、市内で最も古い仏像の一つです。

## ⑧ 圓教寺・大平新城跡 (新城)

南蔵・新城・政戸にかけての丘陵上に大平新城跡があります。戦国時代、武田信玄と徳川家康に攻められた今川氏真が、北条氏の支援を受けて入城した城ともいわれています。

城跡の麓にある圓教寺は大平で唯一の日蓮宗系の寺院です。元々裏山にあった七面堂が起源で、元和3年(1617)には、三枚橋城主大久保忠佐の家臣が大平に居住し、先祖の墓をこの地に移したといわれています。熱心な日蓮宗の信者であった徳川家康の側室お万の方も七面堂を参拝したといわれ、漆塗りの椀が寺に伝わっています。 【表紙の写真】

文化財まちあるきマップ 大平編「大平地区の文化財をめぐる」  
2024年3月発行 発行・編集:沼津市教育委員会事務局文化振興課(沼津市文化財センター)

## ① 阿弥陀堂跡 (三分市)

室町時代、疫病がはやった際に念仏堂を建て、祈願したのが始まりといわれています。明治6年(1873)には、ここに大平舎(小学校)が建てられました。なお、この地は大水の被害を度々受けたことから、年貢の三分の一が免除されたため「三分市」の地名になったと伝わります。



## ② 小山庚申堂 (小山)

お堂に残る棟札から、天明4年(1784)以前に、この地に庚申堂があったことがわかっています。庚申堂の由来となった青面金剛のほか、観音菩薩や不動明王なども祀られています。背後の山に鎮座する三嶽神社は、星谷修理之亮が建武元年(1334)にこの地に移住した際、祀ったといわれています。



## ③① 桃源院 (月ヶ洞)

宝徳2年(1450)、今川義忠の妻北川殿(北条早雲と伊勢宗瑞の姉)の開基により建立されました。山門は遠州の武家の門と伝わり、塀には珍しい石瓦が葺かれています。寺が所蔵する大平村絵図は、江戸時代の大平村の様子がわかる貴重な資料です(市指定有形文化財)。境内には中世の墓石も残っています。



## ④② おぼしどころ (月ヶ洞)

沼津アルプストンネルの開口部は、岩山が垂直に切り立った地形をしています。これは石を切り出した石丁場だったためです。石丁場跡の一角には、地元の人が「おぼしどころ」と呼ぶ石造物が数多く建立された場所があります。自然の岩体を削って階段を造った上には、馬頭観音像や聖観音像が祀られています。



## ⑤③ 臥雲寺・徳楽寺 (戸ヶ谷)

臥雲寺は、大平では最古の創建と伝えられます。暦応2年(1339)、伊豆国香山寺の隠居玉翁がこの地に庵を建てて臥雲庵と称し、この寺を中心に大平に5つの庵ができたといわれています。徳楽寺は、元は鷲頭山頂にあった寺で、駿河伊豆両国横道三十三所観音霊場の九番札所として厚く信仰されてきました。



## ⑥④ 山口庚申堂 (山口)

元は山あいにあった真言宗の向岳庵という寺が起源といわれます。天正17年(1589)の大雨による土砂崩れで埋没し、のちに現在地に移転したと伝わります。堂内に庚申堂の由来となった青面金剛が祀られているほか、境内には馬頭観音像や巡拝塔、観音像、庚申塔などが立ち並んでいます。



